

人権についての市民意識調査から

今年2月に実施された「人権についての市民意識調査」の結果を受けて、本誌でも今月号と次回号の2回に分けて考察していきます。

『現在もあると思われる人権問題』（表①）を5年前と比較し、増減に目を向けると、「インターネットによる人権侵害」が約20%、「HIVなどウイルス感染者等の人権」が約12%増えています。これは、新聞・テレビ・ネットニュース等で報道され、皆さんが目にしたたり、耳にしたりする機会が多かったからだと考えます。SNSによる誹謗中傷で自殺にまで追い込まれた事象がありました。全国各地でコロナウイルス感染者に対しての差別も目の当たりにしました。この四国中央市においても、感染者の家族に対する差別があり、インターネット上の悪意のある書き込みもありました。

「外国人に関する人権」「性指

向及び性自認」等も増えていきます。これは、ヘイトスピーチ反対の報道やLGBTQ+に対する理解をというドキュメンタリー番組の報道があったことも起因しているのでしょうか。

減少しているのは、「高齢者に関する人権」約15%、「子どもに関する人権」約8%です。増加した項目に比べて印象が薄かったのでしょうか。

実は、2020年は、高齢者に対する虐待件数と児童虐待件数は共に過去最高で、ますます増加傾向にあります。女性の自殺、女性に対するDVも過去最高でした。この背景には、コロナ禍の影響もあると言われています。

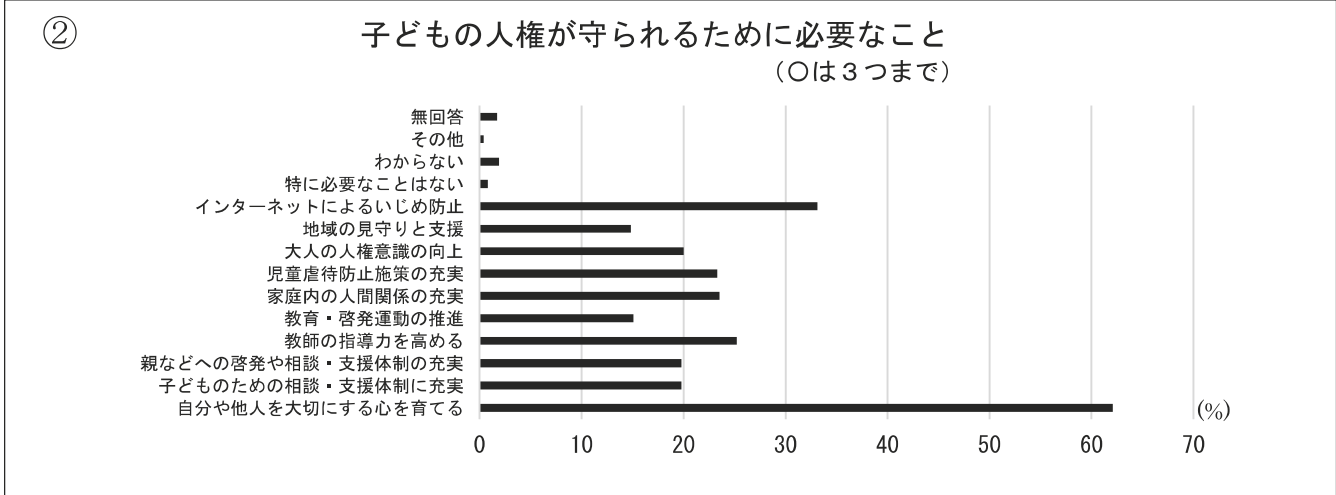
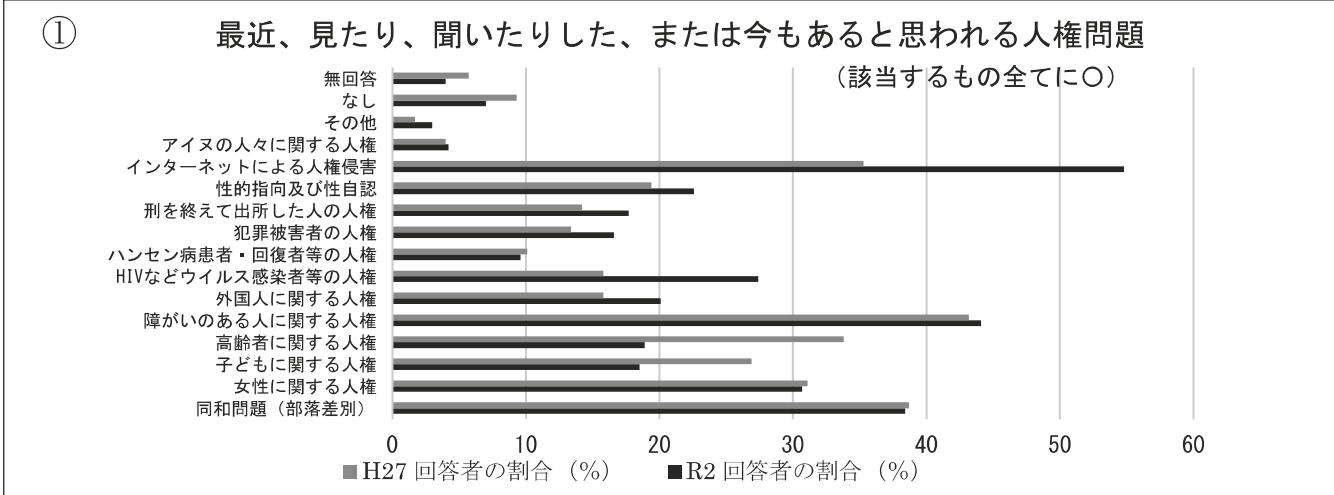
また、上位3項目は、増減に関係なく「インターネットによる人権侵害」「障がいのある人に関する人権」「同和問題（部落差別）」です。

他の2項目とは異なり、部落

差別についての報道は殆どありません。それでも上位にあるのは、「同和問題を身近な差別の現実として捉えている人」「正しく理解することができていない人」「頭では分かっているが世間の目が気になり自分の内にある偏見や差別意識に気づいていない人」等、様々な立場の方がいらっしやるからではないでしょうか。

報道等によって人権基準に対する意識は確実に高まっていると思います。東京オリンピックの開会式前に女性に対する差別的発言で辞任に追い込まれた大会会長、過去のひどいいじめが発覚したことやホロコーストを揶揄したということとで解任された人達もいました。残念ながら一人ひとりの人権意識は決して高まっているとは言えない現状です。

「人権」とは、『私たち一人ひとりが、幸せに生きていくための権利であり、人間が生まれながら持っている固有の権利』です。誰もが明るく幸せに生活できる社会を築くには、一人ひと



りが、他人の人権を侵害してはならない義務と責任を負うと共に、人それぞれが共に尊重される社会に向けて大切に守り育てていくことが必要です。

このことを『子どもの人権が守られるために必要なこと』（表②）の結果から考えてみたいと思います。最も多いのは、「自分や他人を大切にすることを育てる」です。心を育てることに関連するものとして、「教師の指導力を高める」「家庭内の人間関係の充実」「地域の見守りと支援」「大人の人権意識の向上」等が該当します。

心を育てる担い手は、私たち大人です。大人が誰に対しても思いやりをもって接していれば、それを空気のように受け取り、自分も人も大切にできる子に育つのではないのでしょうか。人の気持ちを推し量ることができるとは、安易にインターネット上での誹謗中傷をすることはできないと思います。

ところが、現実はその単純なものではありません。親、大人

もしんどい状況や苦しい立場に立たされている方もいらっしやいます。そのために、相談・支援体制の充実が重要になってきます。地域の人とのつながりがあると、行政等につながることもできますが、全く孤立している支援助の手が届きにくくなります。必要なときには助け合うことができる地域力が大切なのではないのでしょうか。

子どもの心を豊かに育てるには、様々な体験や人との出会いが大切です。また、自分にとっての居場所がたくさんあるほど、何事に対しても意欲的に取り組むことができます。

スマホやパソコンは便利なものですが、小学生は過半数、中学生は約8割スマホを持ち、テレビよりYouTubeに関心を持っています。「インターネットによるいじめ防止」が子どもの人権を守るために必要なこととして3割以上の方が選択されています。

保護者の皆さんは、お子さんが、約束事を守って正しい使い

方ができているか見届けることができているのでしょうか。

【前頭葉の発達是最も遅く、衰えるのは最も早い】そうです。ステイブ・ジョブズやビル・ゲイツは、自分の子どもたちに14歳頃まで電子機器やスマホを厳しく制限していました。開発者であるからこそ、精神や脳の発達に影響することがわかってきたからです。良い睡眠は、心身の発達にとっても重要です。そのため、時間の制限が必要で

す。また、社交性やコミュニケーション能力、問題解決能力を子どものときからしっかり身に付けることを大切にすべきだと考え、顔と顔を合わせて会話する時間や読書や音楽鑑賞、家族団らんや勉強の時間を大事にしたそうです。

社会状況が急速に変化する現代。人の心を育てることの大切さは変わりません。多様性を認め、一人ひとりを大切にできる社会を目指して、少しずつ学習を深め、自分にできることからやっつけていきませんか。